

「ふれあいの里山」復活大作戦



| | |
|-----|--|
| 日時 | 2015年 1月10日(土) 10時00分～ 14時30分 |
| 場所 | 金ヶ崎公園 |
| 参加者 | 市民自然図鑑案内人(明石市内の学校の先生)/2名(午前のみ)、 エコウイング会員/5名(午後3名)、団体会員(明石高専)/3名、事務局/1名 計 11名(午後7名) |

● 午前

今日は、朝10時に公園事務所の会議室に集合し、午前中は現在予備調査中の「あかし市民自然図鑑／昆虫編」の今後の活動方向性について、参加者それぞれの意見などを出し合いました。今日の打合せでは、これからも毎月の定例活動日の午前中に昆虫の観察会を続けることを確認しました。

ただし、昆虫全般を対象とすると範囲が広すぎ、まとめることが困難になると思われるため、例えばチョウやトンボのなかまなど、ある程度範囲を絞って調査を進めてみることを試みることにしました。また、今後はデータを蓄積するだけでなく、観察結果をエコウイングあかしのホームページに公開していくことも検討していくことにしました。

市民自然図鑑／昆虫篇の活動方針打合せ



● 午後

午後は、初参加の2名の明石高専の学生さんを含め、7名のメンバーで公園内の散策路を巡り、傷んだ階段などの修復や、アカマツの枯木の伐倒などの作業をしました。初参加の学生さんには、作業に入る前に安全マニュアルをもとに里山整備の注意点について説明をしました。また、作業現場では木の切り方の手順について、実際に作業をしてもらいながら、説明しました。

初参加の学生さんの伐倒作業



散策路階段の修復作業



伐倒前の枯れたアカマツの幹を観察する学生さん



● まだ寒さが厳しい時期ですが、徐々に春の気配も感じられることが期待されます。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園も、先月に引き続き寒さが厳しく、昆虫や草木の花はほとんど観察できませんでした。ただ、大きな枯れたアカマツを伐倒する前に、腐った幹をはがしてみると、ヤモリやゴキブリ、カメムシのなかまなどが出てきました。冬の寒さを避けて越冬中だったのを、いきなり寒空にさらして、かわいそうなことをしました。

アカマツの枯れ木の幹の中で越冬していた生き物たち

ヤモリ



ゴキブリのなかま(サツマゴキブリ?)



キマダラカメムシ?



ユミアシオオゴミムシダマシ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

今日もたくさんの野鳥が姿を見せてくれました。公園内の雑木林では、冬鳥の代表のルリビタキやジョウビタキ、シロハラをはじめ、シジュウカラやコゲラ、メジロ、エナガ、ヒヨドリ、ホオジロ、アカゲラ、ハシブトガラス、キジバト、ハクセキレイなどを観察しました。浦池では、ホシハジロやマガモ、カイツブリ、アオサギを確認しました。

その他に今日は、ちょっと珍しいトラツグミが姿を見せてくれました。

ルリビタキ(メス)



ジョウビタキ(オス)の後姿



ジョウビタキ(メス)



シロハラ



シジュウカラ



コゲラ



メジロ



エナガ



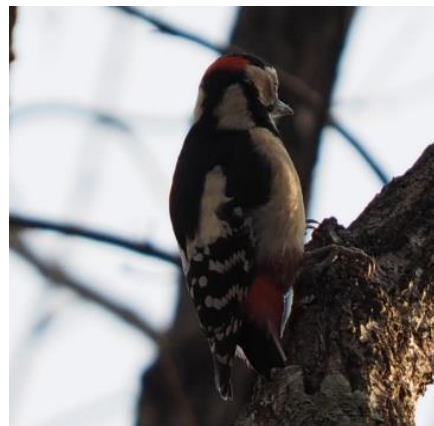
ヒヨドリ



ホオジロ



アカゲラ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

ハシブトガラス



キジバト



ハクセキレイ



ホシハジロ



マガモ



今日の目玉の「トラツグミ」

